

令和6年3月21日

東京学芸大学附属学校運営部長 殿

学校名 東京学芸大学附属小金井小学校

校長名 小 森 伸



令和6年度教育課程について（届）

このことについて、東京学芸大学附属学校運営規程第3条に基づき、下記の通りお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

今年度は「強くたくましい子」を重点目標に設定し、その具現化に努める。

- 明るく思いやりのある子
- ◎ 強くたくましい子
- 深く考える子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 人権教育を重視し、偏見や差別のない学年・学級経営に努め、いじめや不登校の根絶を目指す。
- 教師と児童、児童相互の信頼関係を築き、自尊感情や自己肯定感を高め、他者理解を深める。
- 学ぶ意欲を高め、確かな学力を身に付ける教育を推進するため、授業改善と授業力向上を図る。
- 運動する機会を増やし、体育科の授業を充実させ、体力・運動能力の向上を目指す。
- 特別支援教育の充実を図るために、個別指導計画に基づく個に応じた具体的な支援を進めるとともに、関係諸機関との連携を図る。
- 家庭や地域社会の期待に応える開かれた学校運営を進めるため、学校評議員会や学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施して、教育課程の充実・改善を図る。

2 指導の重点

(1) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動

ア 各教科

- 体験活動や話し合い活動、観察・実験、説明・報告などの学習活動を工夫するとともに、教科の特性に応じた言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習の充実を図る。また、見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を計画的に取り入れることにより、主体的に学習に取り組む態度を養う。
- 教員の専門性を生かした交換授業やチームティーチング、ICT機器の積極的な活用等による多様な指導体制や個に応じた指導の充実を図り、学習内容を確実に身に付けさせる。

イ 特別の教科 道徳

- 道徳の時間を要として、教育活動全体を通じて、計画的・発展的に道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成する。特に思いやりや相手を尊重する心を育むことを重視する。

ウ 外国語活動および外国語

- 外国語活動および外国語の推進を担当する専科教諭を中心として、本学英語科教育学研究室や附属小金井中学校との連携を図りながら、中学校との接続を意識したカリキュラムの充実を図り、英語を使う楽しさを体感させ、異文化への関心を高める。

エ 総合的な学習の時間

- 交流活動やテーマ追究活動などの探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する能力を育成する。

オ 特別活動

- 望ましい集団活動や体験的な活動を通して、よりよい人間関係を築く力、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 学部・大学院の教育研究に基づいて、学部3年生の教育実習（基礎実習及び選択実習）、教職大学院生の教育実習、大学院生の臨床心理実習、教育実習の事前事後指導、学校インターンシップ、学生ボランティア等、学部生・大学院生の発達段階に応じた多様な教員養成プログラムを開発し、指導にあたる。
- 3～6年生で実施する宿泊生活において、日常では体験できない児童間のかかわりから相互理解を深め、互いに支え合いながら登山や遠泳等を行うことにより、「明るく思いやりのある子」と「強くたくましい子」の育成を図る。
- 児童の実態に応じた質の高い授業実践とともに、公立学校等で広く活用される汎用性の高い指導法ならびに教材等について開発を行い、その成果を研究発表会等において積極的に公開、発信する。

- 本学が連携事業を推進する地区（二戸市、高島市）ならびに地域教育界等との連携、協力を図るため、研究会等への本校教員の派遣ならびに教員の研修受け入れを積極的に行う。
- 大学や文科省事業費を用いて、一人一台タブレットPC、デジタル教科書、Wi-Fi等のICT環境を整備する。また、ICT専門の教員が中心となって研修等を実施したり、情報支援員を年間80日程度確保して教員の補助や学習の支援を行ったりして、ICT教育を充実させる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- 学校やクラスの中に児童一人一人の居場所があり、自らの存在感を実感できるよう、様々な機会をとらえて児童が活躍する場面を作り、互いに認め合える雰囲気づくりに努める。
- 職員会議や校内委員会等で児童に関する情報交換を行い、児童理解に努めるとともに、家庭や関係諸機関との綿密な連携を図る。
- 避難訓練やセーフティ教室、安全指導、保健指導等を充実させ、安全に関する情報を正しく判断し、行動に結び付ける実践力を身に付けさせる。

イ 進路指導

- 発達段階に応じた勤労観や職業観を育成するため、自分の特性を知ったり、様々な職業に関心を深めたりするようなキャリア教育を推進する。
- 5・6年生においては、多様な進路を知る活動を通して、適切な進学について判断できる力を育成する。

第3表

学校名 東京学芸大学附属小金井小学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1年	14	20	19	10	1	19	22	17	15	17	18	14	186
2年	17	20	19	10	1	19	22	17	15	17	18	14	189
3年	17	20	19	10	1	19	22	17	15	17	18	14	189
4年	17	20	19	10	1	19	22	17	15	17	18	14	189
5年	17	20	19	15	1	19	22	17	15	17	18	15	195
6年	17	20	19	15	1	19	22	18	15	17	18	11	195
備考	<p>○1学期始業式は4月8日(月)、入学式は11日(木)のため、1年の授業日数は3日減となる。</p> <p>○開校記念日は6月10日(月)で休業日とする。</p> <p>○7月の5・6年は、宿泊行事のため授業日数が5日増となる。</p> <p>○10月12日(土)は運動会のため授業日とし、15日(火)を振替休業日とする。</p> <p>○11月27日(水)は6年生のみ入学調査補助のため登校するので1日増となる。</p> <p>○2月1日(土)は公開授業研究会のため授業日とし、3日(月)を振替休業日とする。</p> <p>○3月15日(土)は卒業式のため、5・6年生の授業日数が1日増となる。</p> <p>○6年は卒業式後の17日(月)・18日(火)・19日(水)・21日(金)は休業日となるため、授業日数が4日減となる。</p>												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動の年間授業時数

区分	学年	1	2	3	4	5	6
各教科	国語	315(9)	324(9)	249(4)	249(4)	180(5)	177(2)
	社会			73(3)	91(1)	102(2)	106(1)
	算数	140(4)	180(5)	179(4)	178(3)	180(5)	177(2)
	理科			92(2)	106(1)	107(2)	106(1)
	生活	105(3)	107(2)				
	音楽	70(2)	72(2)	62(2)	61(1)	52(2)	51(1)
	図画工作	70(2)	72(2)	62(2)	61(1)	52(2)	51(1)
	家庭					62(2)	56(1)
	体育	104(2)	107(2)	107(2)	106(1)	94(4)	92(2)
	外国語					72(2)	72(2)
	小計	804(22)	862(22)	824(19)	852(13)	901(26)	887(13)
特別の教科 道徳	35(1)	36(1)	37(2)	36(1)	36(1)	37(2)	
外国語活動			38(2)	36(1)			
総合的な学習の時間			71(1)	72(2)	72(2)	72(2)	
特別活動	36(2)	37(2)	37(2)	36(1)	37(2)	36(1)	
総計	875(25)	935(25)	1006(26)	1033(18)	1046(31)	1033(18)	
備考	<p>○週時間数は、1～2年は27時間+1M、3年は29時間+1M、4～6年は30時間+1Mとする。</p> <p>○クラブ活動の回数は13回、委員会活動の実施回数は12回とし、どちらも木曜日6校時に、クラブ活動は60分間、委員会活動は45分間行う。</p>						